

平川市 ごみ減量化大作戦 ②

ちょっとした「ひと手間」から始めてみよう！

市では、第2次ごみ処理基本計画を策定し「循環型社会」の形成を目指した取組を進めています。10月号では、市のごみ処理の現状や目標値をお知らせしましたが、今月は各家庭での具体的な取組方法についてご紹介します。

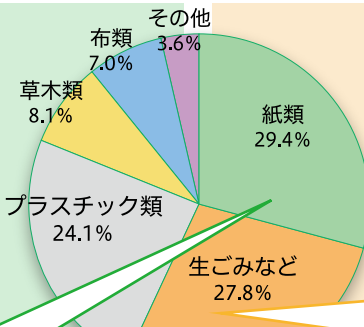
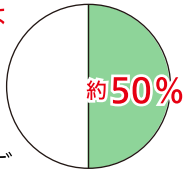
■ごみの減量化に向けた「ひと手間」ポイント

ポイント

1. 紙類

紙類のうち、約50%はリサイクル可能な紙が含まれています。

これらをリサイクルした場合、燃やせるごみの年間総排出量のうち、約15% (760 t) のごみが削減可能です。



燃やせるごみ
年間総排出量
5,169 t

■リサイクルできる紙類の例

紙類は軽そうに見えますが、計量してみると想像より重いことがわかります。

30g



箱ティッシュ

31g



牛乳パック

40g



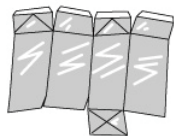
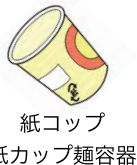
ラップの芯

【ちょっと「ひと手間」】

紙袋に入れるか、紙紐で十字に縛って「資源ごみ」に出してください。

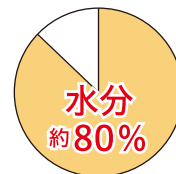
■リサイクルできない紙類の例

「燃やせるごみ」に出してください。



ポイント

2. 生ごみ



生ごみのうち、約80%が水分です。

ごみを処理する際、費用はごみの重さで決まります。水分といえども、**重さを減らすことが重要です。**「水切り」をすることで、燃やせるごみの年間総排出量のうち約20% (1,150t) のごみが削減可能です。

■ちょっと「ひと手間」

キッチンでできる簡単な水切りから！



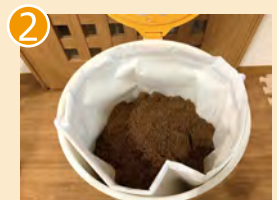
三角コーナーやストッキング式の水切り袋を使ってしっかりと水切りしましょう。

■さらに「ひと手間」

室内コンポスト容器で堆肥づくりに挑戦！



生ごみを用意



土が入ったコンポスト



生ごみを投入してかき混ぜる



4～5週間で堆肥が完成！

市では、コンポストなどの生ごみ処理機などの購入費を助成しています。詳しくは、下記までお問い合わせください。



次号では、資源物が回収されてからリサイクルされるまでの仕組をご紹介します。